

上関町の使用済み核燃料の中間貯蔵施設について、周辺住民の皆さんから寄せられた意見
(2024年3月16日(土)に田布施町の地域交流館付近にてシール投票を実施)

調査：「上関の中間貯蔵施設を考える周防住民の会」

<中間貯蔵施設に「賛成」の方の意見>

- ・簡単な話、誰かが、どこかが、受け入れんとね。イヤダ、イヤダじゃ話すまんじゃろ。
- ・中間貯蔵施設についての必要性、安全性を十分に考慮して判断してほしい。安全であれば賛成(電力安定供給)。
- ・現在の電力事情を将来的に考えると火力・水力には限度がある。したがって、他の方法を考えると原子力以外の方法があるだろうか？それにより、将来的に安全・安心的に考えると原子力以外ないのではないか。安全を確保しながら最善の方法を選択することが大切である。安全・安心のため最善の方法として、事前の確認をして事前の方法に賛成である。

<「分からない・棄権」の方の意見>

- ・釣りをするから自然のままがいい。
- ・中間施設に、もしものことがあった場合のことを考えると怖いものがあり、出来れば近場にあって欲しくないとは思いますが・・・生活に電気が必要であり、どこかの県が負担を抱える事になるとは思いますが。現実に、現使用済み処理に困っているので・・・電気を使用するものとしては、簡単に反対できないとも思っています。

<中間貯蔵施設に「反対」の方の意見>

- ・安全でないことは、しないで下さい。
- ・政府は「原発はこれ以上稼働しない」という方針を出して欲しい。町は補助金に頼らないで自立の道を選んで欲しい。せっかく道の駅ができたので活用して。いつまでゴミ処理問題で悩ませられるのか。これ以上原発は使わないという方針が出たら、本気で今まで出してきたものの処理を皆で考えないといけないと思う。
- ・なんか永久になりそうで心配です。
- ・自民党や県会議長への忖度や同調圧に屈せず住民の意志を反映して下さい。
- ・目先の近視眼的視野で物事を決定するのは全く危険。何も安全の保障もない事を決定すべきではない。近慮しないで！
- ・地震等、災害が起きた時に大変な事になると思う。災害時に、すぐに対応できないと思う。
- ・大変重要な案件を上関だけで決めてしまうというのはおかしい事だと思います。何故事前に、柳井・平生・田布施を巻き込んでの話し合いができなかったのか？中間とはいえ、最終的な貯蔵施設になるのではという思いがあります。上関の議員の多数が賛成ならそれをもう決めていいのか、あまりにも簡単な決め方に驚きました。

- ・中国電力の『原発施設建設計画』の即時取り消しを要求する。大地震が起きた際には『放射能』が漏れ出して、山口県東部地区は汚染されて人（動物）が住めなくなります。＜断固反対＞
- ・知事、市長、町長、議員は人の命を守ることが第1の任務。想定外は許せない。地質学者300人集まったのメッセージ、日本には安全な場所はない。六ヶ所村の再生工場は技術的に破綻。最終処分場なくして中間施設なし。
- ・何かあったら怖いので。
- ・周南は住民から意見を聞くが、柳井などは今聞いていないのが気になるそうです。
- ・ゴミ持って来るなら、中電本社広島に持って行け。
- ・最終処分方法が決まっていない時点では中間は最終になるのでは。処分方法のまだ未定なエネルギーは不用です。
- ・反対です。
- ・核廃棄物貯蔵施設について、絶対安全というのはありえません。地震や津波も、ここは内海だから大丈夫ということも同様。私を含め、近隣に住む人々は、自分の故郷を愛しています。いつまでも安心して住める美しいところであって欲しい。だから、それをぶち壊すようなものの建設には反対します。
- ・反対。自分は福島出身なので、特に思います。
- ・（中電）関係が上関に住みますか。業務上、上司の指示で反対出来ないと思うよ。本当に安全なものなら関係者（中電）がマンションなり住宅建てて永住されたら。いずれ上関の人々が居なくなり予想されていて残るものだけになるよ。絶対反対します。
- ・最終処分場も決まってないのに中間の言葉がそろそろしい。お金は上関町の人のみ。＜危険＞は柳井・平生・田布施と広範囲に及ぶ。賛成＝金。反対＝何も無し、被害のみ。
- ・使用済み核燃料は放射線が高く、すごく危険なものです。それが人体にとって危険がなくなるには10万年かかると言われます。中間貯蔵施設はその放射線を遮蔽するためのキャスクに入れて置きますが、その遮蔽能力は50年で切れることがはっきりしています。50年たっても、持っていくところはありません。50年たつ前にキャスクを入れ替える必要がありますが、そのためには水の中に入れて放射線を遮蔽しながら入れ替えるしかないのですが、そのための使用済み核燃料プールは上関にはありません。50年ごとに永久に入れ替え続けなければなりません。そんな危険な作業を誰がするのでしょう。原子力政策は今完全に行き詰っている。それを上関におしつけるのは許せない。
- ・瀬戸内海をきれいな海をいつまでも残してほしい。自然破壊は大問題。山とか海を大切に残してほしい。関西電力のゴミはいらない。
- ・未来の子供達の為にも反対です。
- ・中間と言っても、次に持って行く場所がないので、ほぼ永久的に置かれるのかと思うと危険（地震大国の日本なので）。福井県の方から海廻りで山口県まで運ぶのが危険なのは？原発ゴミは移動してはいけない。その周辺の地も危険にさらされます。原発とか、そのゴミのあるような土地に住みたくないです。自然豊かな環境を維持して下さい。
- ・今回、中国電が上関町に使用済み核燃料の中間貯蔵施設の建設を持ち掛けたのは8月2日。そして、議会で多数を占める賛成議員を頼みにして、8月18日には全員の議員の意見を聞き、町長は受け入れを表明している。あまりに拙速な表明に首長や議会が、それに対して異論を述べたのは当然である。周辺の9月議会では、何人もの議員がこの問題を取り上げて反対を表明している。周辺首長や議会への中国電

の説明は形だけを繕ったもので説明会をしたという既成事実を作ったに過ぎない。周辺の市町では一早く平郡の自治会が反対の申し入れを市長にしている。周防大島町でも反対署名を町長に出して、反対の意思表示をしている。また、共同通信の上関町民のアンケートでは、60%が反対している。そういった大きな反対の声がある中で、上関の町長と議会とで、建設に向けて突き進むのはどうかと思う。

今回の中間貯蔵施設の建設には、使用済み核燃料が満杯となり、福井県から断られた関電の救済の為に中国電が上関町に地域振興という名目で持ち掛けたものであるのは想像に難くない。再稼働と中間貯蔵施設とはセットになっており、再稼働を進めていく関電にとっては、そういった施設の県外建設は、願ってもないことである。中間貯蔵施設反対は、原発の再稼働に反対することにも通じるので断固として反対していきたい。福井県からなぜ遠く離れた上関に海上輸送しないといけないか、再処理工場が青森にあるが、予備稼働ができるかできないか不透明であり、核燃料サイクルも確立していなく、撤退をしているのではないか。再処理工場に送られることなく、中間貯蔵施設でそのまま貯蔵しなくてはならないということになりそうだ。周辺に住む者としては、リスクのある物に脅えながら生活するのだったらたまらない。そんなリスクをおかしてまでも移住するという者はいなくなりそうだ。安心・安全なまちづくりをしている者にとっては、大きな声で反対と叫びたい。